

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	音声学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	田 中 良				
実務経験と その関連資格					
《授業科目における学習内容》					
言語音の詳細、音響学的特徴、リズム、アクセント、イントネーションを中心として特に日本語の言語音について理解する。本授業の内容、配布資料のみで国家試験の音声学分野に対応できる範囲を網羅する。また、単なる試験対策ではなく、音声に対する本質的理解により、人間の発する音声の世界観を掴む。					
《成績評価の方法と基準》					
小テスト(30%) 定期試験(70%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
竹内 京子(著), 木村 琢也(著), 岩松 奈央子(イラスト)『たのしい音声学』くろしお出版					
《授業外における学習方法》					
配布した授業資料を丁寧に復習すること。					
《履修に当たっての留意点》					
音声に関し、1音ずつではない、連続した音声を持つ特徴という点に留意する。					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	音声と同化する仕組みと要素について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	同化1 連濁・無声化・促音化・音便			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	音声と同化する仕組みと要素について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	同化2 母音交代・硬口蓋化			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	音声の音響学的な要素について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	サウンドスペクトログラム1 サウンドスペクトログラムの基礎			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	音声の音響学的な要素について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	サウンドスペクトログラム2 1音ずつのサウンドスペクトログラム			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	語の音響学的な表記の読み方の基礎を理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	フォルマントリーディング1 サウンドスペクトログラムの読み方			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	語の音響学的な表記を読めるようにする。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	フォルマントリーディング2 サウンドスペクトログラムを読む練習		
第7回	授業を通じての到達目標	狭帯域サウンドスペクトログラムでの語の表記を読めるようにする。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	狭帯域サウンドスペクトログラム		
第8回	授業を通じての到達目標	波形での語の表記を読めるようにする。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	波形 波形での語の読み方		
第9回	授業を通じての到達目標	音声のリズムの基礎について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	リズム1 モーラ・音節・フット		
第10回	授業を通じての到達目標	音声のリズムの詳細について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	リズム2 リズムの詳細		
第11回	授業を通じての到達目標	日本語のアクセントの基礎について理解し、聞き取りができるようにする。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	アクセント1 アクセントの基礎・聞き取り		
第12回	授業を通じての到達目標	日本語のアクセントのルールについて理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	アクセント2 アクセントのルール		
第13回	授業を通じての到達目標	日本語のアクセントの基礎について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	イントネーション1 イントネーションの基礎		
第14回	授業を通じての到達目標	日本語のアクセントの詳細について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	イントネーション2 イントネーションの詳細		
第15回	授業を通じての到達目標	音声学Ⅱのすべての項目を定着させる。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	音声学Ⅱの総復習		